

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	29-16
原子炉建屋内	RB	R 3	1 時間		
タービン建屋内	TB		2 距離		
R ZONE	R		3 遮へい		
Y ZONE	Y		4 線源の除去		
G ZONE	G		5 遠隔、ロボット化		
その他 ()	Z		6 汚染拡大防止		
			7 その他		

内容	3号機タービン建屋上部からの放射線を遮へい			
作業部位	3号機タービン建屋海側			
概略	タービン建屋からの放射線（γ線）を遮へいするため、コンクリート擁壁、鉛板等で作業域並びに天井部の遮へいを行った。			
評価 (定性定量)	効果		対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	--	--
		人工数(人日)	--	--

事例詳細

対策前 作業域は土壌面だけでなくタービン建屋上部からも放射線寄与があるため、作業エリア上部に対しての遮へいが必要であった。

対策内容 コンクリート擁壁・鉛板を使用して遮へい壁を設置するとともに、屋根部も遮へいを施した。また、遮へいベストを着用した。

①放射線の遮へい方法

- ・地面 ⇒ 砕石, 鉄板敷設
- ・空間 ⇒ コンクリート擁壁, 鉛製マット

②高線量位置からの離隔確保

③タングステンベスト(遮へい)

